

Funder Storm

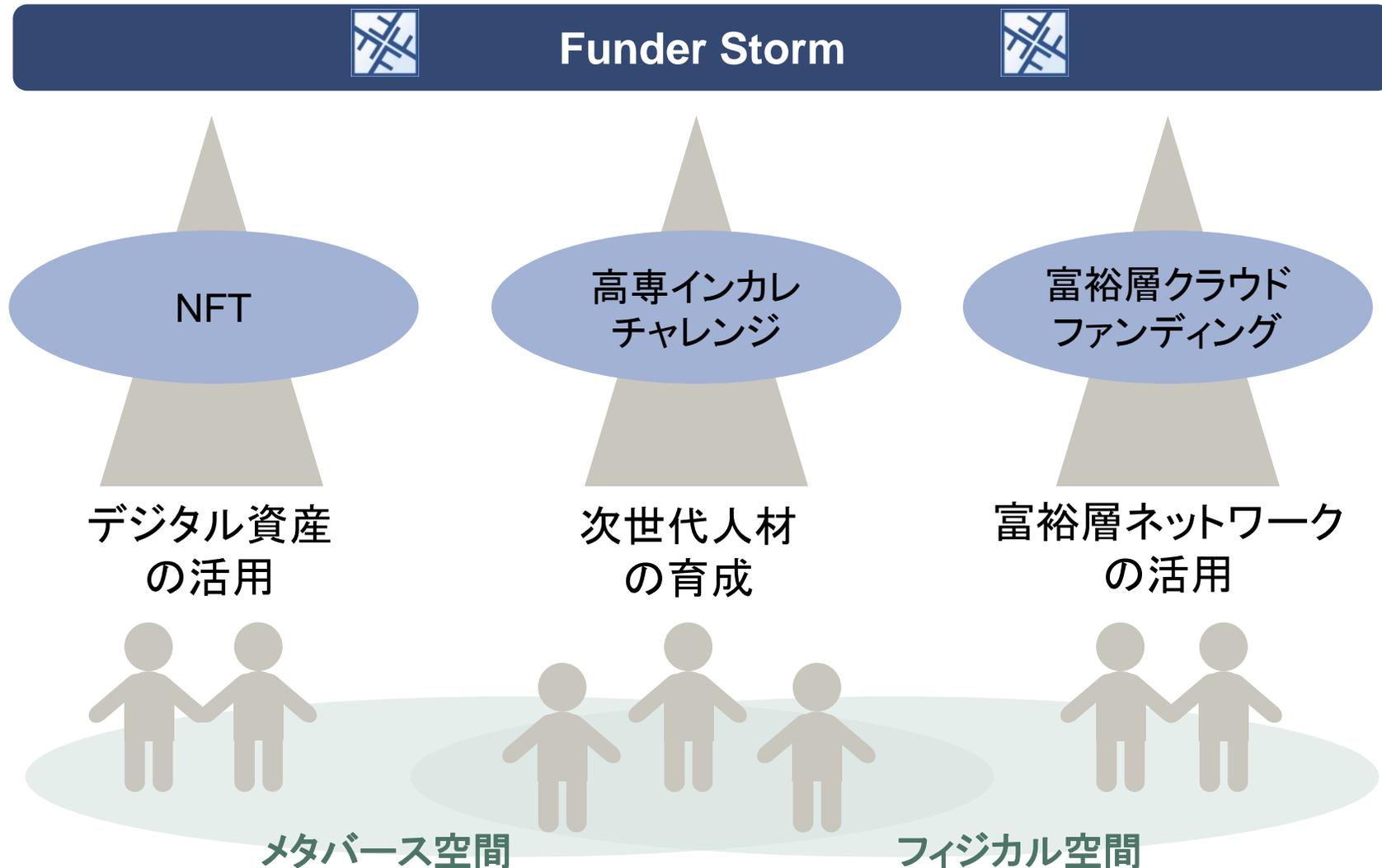
---





# Funder Stormの3.0つの柱

Funder Stormは「地方創生×トークンエコノミー」において下記の3つのテーマに注力しています。証券会社3.0として日本の未来を変革するエコシステムを一つでも多く生み出すことを目指します。





# Funder StormのWeb3

「地方創生×トークンエコノミー」をテーマに立ち上がったFunder Stormでは日本の国際競争力の向上にとってweb3の発展はまたとないチャンスだと感じており、従来のサイロ化した地方創生の枠組みを打破するための基盤の構築に奔走しています。

## ビジョン

### Web3の活用を通じて日本の価値の最大化を図りたい

(無形の資産を可視化し、価値としてグローバルに循環させることがキーポイント)

#### Web3を活用した事業の展開

- 日本の歴史文化を次世代に継承しようとしている方々を応援する仕組み
  - NEO KYOTO NFT ARTs
  - Proof of Japan設立



#### web3活用促進に向けた啓蒙活動

- 企業や自治体へのコンサル
  - 現状ではビジネスモデルの提案や勉強会がメイン
  - 弊社ふるさと納税スキームとのコラボも検討
- 各種イベントへの登壇
  - NFT Summit Tokyo
  - Web3bb
  - Historica XR
  - IVS CRYPTO
  - Web X 等
- ビジネスユーザー向けyoutube
  - 正確な情報を平易に伝えるコンセプトのシリーズ
  - AMT河合先生監修

#### 人材育成

- 東大むら塾への支援
  - 東大駒場祭初のNFT発行を支援
- 高専とのコラボ企画(希望)
  - 弊社の高専ネットワークを活かして何かできないか



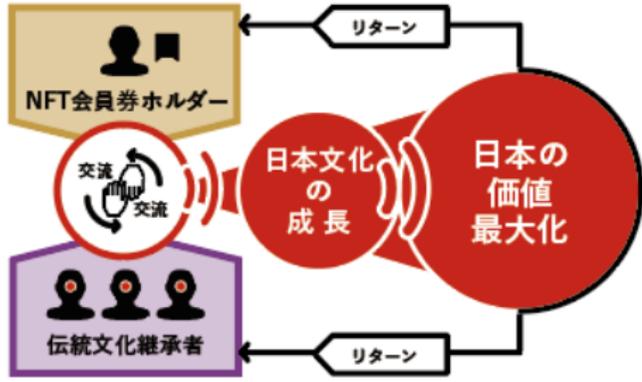


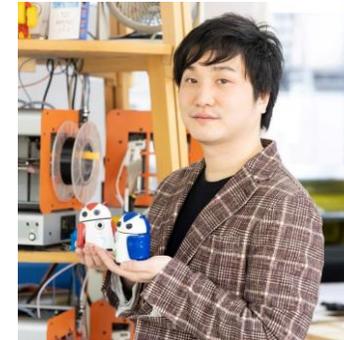
## Proof of Japan

---

# Proof of Japan株式会社の概要

Proof of Japan株式会社はWeb3やAIなどの次世代の新技术を活用することで、日本の传统文化の継承および発展に努める方々を支援していきます。

企業名	Proof of Japan株式会社
役員	伊澤諒太（代表取締役社長） 同氏は株式会社ハタプロの代表取締役社長
株主	株式会社ハタプロ：86% SMBC日興証券株式会社：14%
ビジョン・理念	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の传统文化を応援するグローバル規模の会員制バーチャルサロンの構築</li> <li>Web3技術やAI技術を活用したコミュニティ構築、コンテンツ制作など、新しい传统文化の継承方法を提案</li> </ul>



Proof of Japan株式会社  
代表取締役社長 伊澤 諒太

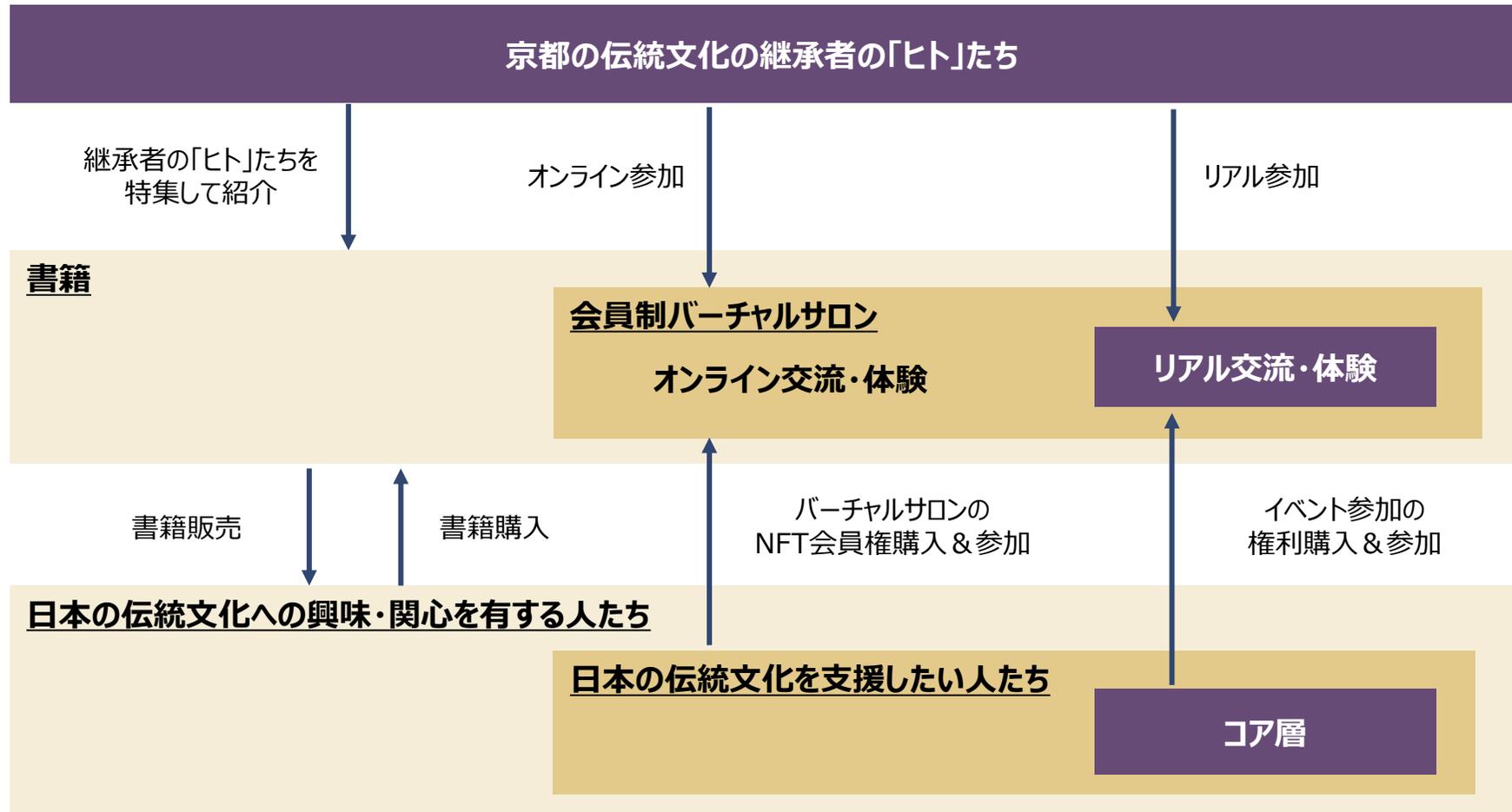
伝統工芸・芸能、漫画、アニメをはじめとする**日本の文化**は、**ユニークな存在として世界から高い評価**を得ており、新しい技術を取り入れることで様々な新市場の形成に寄与し、**大きな経済的価値を創出する可能性**があります。

Proof of Japanは、日本の文化が持つ価値を最大化する**Web3とAIの技術を活用した次世代サロンの構築とグローバルコミュニティを形成**し、伝統と革新が紡ぎだすプロジェクトを推進する会社です。

今回のプロジェクトはその序章となります。  
**次世代の文化の歴史の1ページを、皆様とともに築いていきたい**と考えています。

## 会員制バーチャルサロンの詳細

Web3とAIなどの新技術を活用し、伝統文化を継承する「ヒト」たちを支援するバーチャルサロンをグローバルで構築していきます。まずは、第一ステップとしてその「ヒト」たちを特集する書籍を出版します。



# NEO KYOTO NFT ARTs 2022 (NKNA)

## NEO KYOTO NFT ARTsの概要

- 京都市内の学生が未来の京都の空間やコンテンツをイメージしたNFTアートを作成
- 作品をグローバルに向けて展示・販売
- 販売収益の一部が市の教育に寄附されます
- WEB3の仕組みを活用することで、アートと融合したクリエイティブな街づくりのエコシステムを構築

### サポーター企業

#### <企画>

- 株式会社ワコールホールディングス
- 株式会社ハタプロ
- SMBC日興証券株式会社

#### <スペシャルアドバイザー>

- スタートバーン株式会社
- 株式会社Skeleton Crew Studio

### 参加学生

京都市立芸術大学、京都精華大学、立命館大学、同志社大学、京都府立大学

### 後援・協力団体

#### <後援>

- 京都市役所
- 公益財団法人京都市観光協会

#### <協力団体>

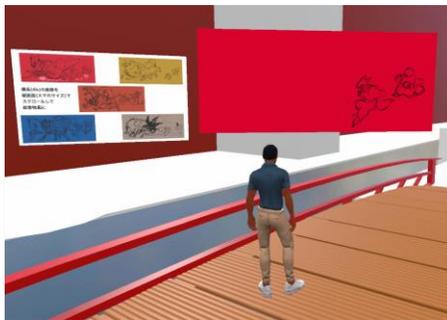
- 高等学校コンソーシアム京都

## NEO KYOTO NFT ARTs 2022の歩み

	日程	場所	講師		内容
第1回 WS	7/9	ワコール スタディーホール京都	スタートバーン株式会社 施井泰平氏		<ul style="list-style-type: none"> <li>● NFTとは何か</li> <li>● NFTアートのトレンド</li> </ul>
第1回 SL	7/29	オンライン	Skeleton Crew Studio 石川武志氏		<ul style="list-style-type: none"> <li>● アートの歴史</li> <li>● アート作成の心構え</li> </ul>
第2回 WS	8/13	瑞雲庵	アーティスト 串野真也氏		<ul style="list-style-type: none"> <li>● アートの作成過程の深掘り</li> <li>● アート表現の本質</li> </ul>
第2回 SL	8/30	オンライン	TOCHKA ナガタ タケシ氏		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々なアート表現の事例</li> <li>● 実演も交えたアート作成ツールの紹介</li> </ul>
第3回 WS	9/24	京都デザイン& テクノロジー専門学校	イラスト作家 井上たつや氏	Skeleton Crew Studio 村上雅彦氏 石川武志氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NFTアートの作成から販売までの流れ</li> <li>● 実演付きデジタルアート描画基礎講座</li> </ul>
第3回 SL	10/25	オンライン	SMBC日興証券 Funder Storm		<ul style="list-style-type: none"> <li>● NFTマーケットプレイスの種類・特徴</li> <li>● マーケットプレイス選択の際の考慮点</li> </ul>
第4回 WS	11/6	旅館こうろ ホテルアンテルーム	Beyond Concept Mekezzo.eth	森・濱田・松本 古市啓弁護士	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NFTアートの展示の在り方</li> <li>● NFTアート購買の流れについての考察</li> </ul>
成果発 表会	12/4	ワコール スタディーホール京都	スタートバーン 株式会社 施井泰平氏	Skeleton Crew Studio 村上雅彦氏 石川武志氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生による作品の発表</li> <li>● それぞれの作品に対する議論</li> </ul>

# NEO KYOTO NFT ARTs 2022の成果物 / 展示物(1/2)

- メタバース空間に学生の作成したNFTアートを展示
- メタバース空間自体も含め、アート作品は全て学生が作成



- 未来の京都をテーマに学生が様々なアート作品を作成
- アート作品はNFT化のうえ販売
- 京都文化に着想を得た絵巻物、絵画、3Dモデルなど作品のジャンルは様々





高専インカレ！

---

# 高専機構との連携協定

2024年1月26日、SMBC日興証券は国立高専機構と「国際的視野を持って世の中に革新を生み出す人材育成及びグローバルイノベーションエコシステム構築に向けた連携協定」を締結しました。

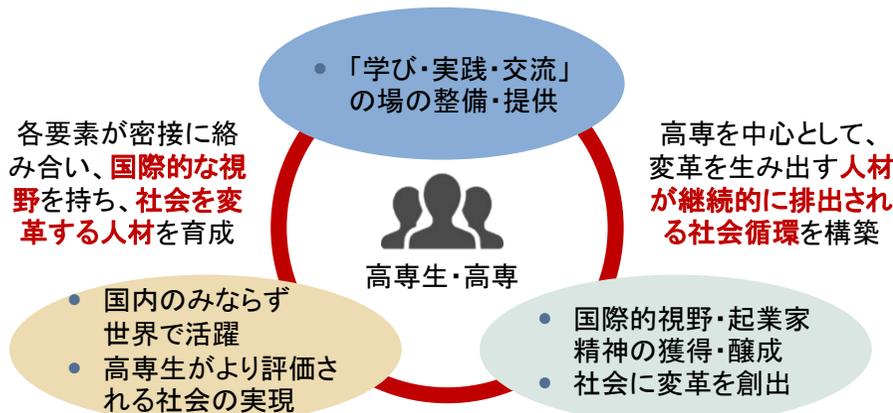
## 連携協定について

2024/1/26: SMBC日興証券と国立高専機構は、「国際的な視野を持ち革新を生み出す人材育成及びグローバルイノベーションエコシステム構築に関する連携協定」を締結



- SMBC日興証券のオープンイノベーションチームであるFunder Stormが主導
- Funder Stormでは、「次世代技術×地方創生」をテーマに新規事業を企画・支援

- 国立高等専門学校(国立高専)を設置・運営(全51校<sup>\*1</sup>)
- 地域と世界が抱える諸課題に果敢に立ち向かう、深い科学的思考に根差した実践的人材の養成を目指す



## 連携協定を通じた取り組み

- 異学年・異学科・異高専の学生が協働した企業のリアルな課題を解決する「高専インカレチャレンジ」
  - 異高専生でチームアップし、企業のリアルな課題に対して、時にプロトタイプ作成しつつ、約2ヶ月で解決策を考案・発表
- 高専生と社会人に対等な学びの機会を提供する「高専インカレワークショップ」
  - 高専生と社会人が主に最先端や話題の領域に関する内容について対等な立場で真剣に学び、意見交換・交流も行う
- 高専生と社会人が日常的に直接交流し学び合う場としてのコミュニティ構築
  - 日常的にイノベーション等に関する情報交換や意見交換などを行える場を構築し、相互の恒常的なスキルアップを推進
- ビジネススキル及び金融に関する教育機会の提供
  - 高専生の成長に資するコンテンツを国内外企業とも連携し企画・提供するほか、金融機関として金融教育教材を提供
- 連携協定に係る取り組みと高専の教育カリキュラムとの連携
  - 産学連携の一つの形として、高専生が身につけた能力を把握・検証し、教育上のカリキュラムへの落とし込みを検討
- インターンシップへの参加を含む、高専生のキャリア形成支援
  - より幅広い分野で活躍できるように、採用・待遇の環境整備に通ずる活動などを通して、高専生のキャリア形成を支援

\*1: 2024年1月時点

出所: 独立行政法人国立高等専門学校機構HP、当社プレスリリース

# 高専インカレチャレンジ第4弾「日本郵船の巻」概要



<b>定員</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 26名(12高専、3~4人×8チーム)</li> <li>● 学年・学科不問</li> </ul>	 <p>企業の解決したい課題を募集</p>	
<b>開催日程</b> ※全てオンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開会式:2023年10月22日(日)</li> <li>● 中間フィードバック:11月16日(木)から約1週間程度</li> <li>● 最終審査会:2023年12月9日(土)</li> </ul>		
<b>課題提出企業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本郵船株式会社             <ul style="list-style-type: none"> <li>– 日本最大級の海運会社</li> </ul> </li> </ul>		
<b>企業からの課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本郵船グループが抱える「現場」「人材」「事業」の9つの課題に対し解決方法を考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>– &lt;現場&gt;安全運航、事故ゼロをどのように達成するか</li> <li>– &lt;現場&gt;乗組員の船上における引継ぎをいかに効率化するか</li> <li>– &lt;現場&gt;船の通信帯域の大容量化をどのように有効活用するか</li> <li>– &lt;人材&gt;国際物流の99%以上を担う海運業界をより身近に感じて貰うにはどうすれば良いか</li> <li>– &lt;人材&gt;地方港において船員や港湾労働者の人手不足へどう対応するか</li> <li>– &lt;人材&gt;社員一人ひとりの強み・経験を共有し、有効活用する為にはどうすればいいか</li> <li>– &lt;人材&gt;全世界で働く従業員に日本郵船グループで働く事にもっと誇りに持ってもらうためにはどうすればいいか</li> <li>– &lt;事業&gt;Web3/ブロックチェーンを活用した新規のBtoC事業を立ち上げたい</li> <li>– &lt;事業&gt;脱炭素領域でどのような事業を作るか</li> </ul> </li> <li>● BANQのAPIを活用しWeb3実装に挑戦してみよう!</li> </ul>	 <p>全国の高専の学生が異高専同士でチームアップ</p>	
<b>審査員</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本郵船の社員の皆様</li> </ul>		<p>優秀なチームは表彰</p>
<b>メンター</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 監修兼メンター:福野泰介(福井高専OB)、岡村未来(奈良高専OG)、渡邊祥気(北九州高専OB)、田貝奈央(香川高専OG)</li> </ul>		
<b>メンタリング方式</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Teamsを活用したオンラインでのメンタリングを実施</li> </ul>		
<b>主催</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SMBC日興証券 Nikko Open Innovation Lab</li> </ul>		
<b>協賛</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本郵船株式会社、株式会社BANQ</li> </ul>		
<b>連携高専</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 苫小牧高専、八戸高専、秋田高専、仙台高専、富山高専、石川高専、新居浜高専、鳥羽商船高専、奈良高専、和歌山高専、香川高専、広島商船高専</li> </ul>		

# 高専インカレチャレンジ第5弾「SMBC日興証券の巻」開催概要



<p><b>開催日程</b> ※全てオンライン開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開会式:2024年4月21日(日)</li> <li>中間フィードバック:6月上旬から1週間程度</li> <li>最終審査会:2024年7月15日(祝)</li> </ul>	 <p>企業の解決したい課題を募集</p>
<p><b>課題提出企業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMBC日興証券株式会社</li> </ul>	
<p><b>企業からの課題</b> (一部記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>証券ビジネスのDX化、金融教育、社員間のコミュニケーション方法など高専生に証券会社をより身近に感じてもらえるよう、バックオフィス、フロント業務より幅広い課題を設定             <ul style="list-style-type: none"> <li>世代を超えて社員同士の交流を活性化するコミュニケーションツールや仕組み作りを考えてみよう!</li> <li>高専生が「こんな未来であって欲しい」と思える新規ビジネスを考えてみよう!</li> <li>証券アナリストが効率的に投資情報レポートを作成できるようなツールを考えてみよう!(例:AIを活用したツールなど)</li> <li>社内問い合わせ業務を効率化する社内ツールを考えてみよう!</li> <li>ネット証券がある中、Z世代にとっても対面証券会社に任せたいと思ってもらえる様なサービスを考えてみよう!</li> <li>日本が資産運用立国を打ち出す中、投資をより身近に感じてもらうアイデアを考えてみよう!(例:金融教育ゲームなど)</li> </ul> </li> <li>高専生はAI・Web3.0を活用したアイデアにも挑戦中</li> </ul>	 <p>全国の高専の学生が異高専同士でチームアップ</p>
<p><b>審査員</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMBC日興証券の役社員</li> </ul>	
<p><b>メンター(敬称略)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>監修兼メンター:福野泰介(福井高専OB)、岡村未来(奈良高専OG)、渡邊祥気(北九州高専OB)、田貝奈央(香川高専OG)、小川航平(香川高専OB)、秦裕貴(北九州高専OB)、篠原由樹(新居浜高専OB)、塚崎浩平(東京高専OB)、山崎泰晴(仙台高専OB)</li> </ul>	<p>優秀なチームは表彰</p>
<p><b>主催</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMBC日興証券 Nikko Open Innovation Lab</li> </ul>	
<p><b>連携高専</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国各地の高専を対象に参加高専生を募集。今回の第5弾では過去最多となる全国の15高専(苫小牧、秋田、仙台、長岡、東京、石川、長野、舞鶴、奈良、香川、新居浜、鳥羽商船、広島商船、佐世保、沖縄)より合計29名の学生が参加中</li> <li>第4弾では全国の12高専より合計26名の学生が参加</li> </ul>	

Funder\_Storm@smbcnikko.co.jp

お気軽ご連絡ください

---

## ご留意事項

本資料は、株式、債券その他の有価証券の引受け等またはM&Aに関する助言もしくは媒介等に関し、お客様のために、お客様が内部で利用することを目的として、特定の案件の内容および実行可能性について、提案、分析、説明、検証等を行ったものです。本資料または本資料によるプレゼンテーションにより、お客様と弊社との間に何らの契約関係も生じさせるものではなく、また弊社がお客様その他本資料を入手した第三者に対し法的な責任や義務を負うものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成されていますが、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、別段の表示のない限り、その作成時点において施行されている法令に基づき作成したものであり、将来、法令の解釈が変更されたり、制度の改正や新たな法令の施行等がなされる可能性もあります。さらに、本資料に記載の内容は、一般的な事項を記載したものであり、お客様を取り巻く内外すべての状況に適合してその効果等が発揮されるものではありません。また、市場の状況等によりその効果等が発揮されない場合もあります。このため、本資料に記載の内容に従って、お客様が実際に取引をされた場合や実務を遂行された場合、予定の資金調達が行えない、売却代金が希望した額に満たない等、その期待される効果等が得られないリスクまたは損害等を蒙るリスク等があります。

本資料および本資料に記載した諸条件はお客様の検討対象として提示しているものです。本資料および弊社がお客様に提供するその他の情報等に基づいて、お客様が弊社と取引を実行されようとする場合には、お客様と弊社との間で別途締結する最終的な契約書類に規定される諸条件によるものとし、所定の手数料、報酬や諸費用等(以下、これらを総称して「手数料等」といいます)をご負担いただく場合がございます。なお、当該手数料等の額又は計算方法については、お客様との協議により個別に決定させていただきますので、予め手数料等の金額やその計算方法を表示することはできません。実際の取引等をご検討の際には、個別の提案書等をご覧いただいた上で、具体的な実務動向や今後の制度改正および法解釈の動き、ならびに、お客様の個別の状況等に十分ご留意いただき、お客様の最終判断をもって行っていただきますようお願い申し上げます。また、弊社およびその関係会社、またはそれらの役員は、本資料に記載されている有価証券その他の金融商品または対象企業について、現在または将来において、取引関係、利害関係またはポジションを有する可能性があります。その他、本資料に記載された税務・会計・法務等に係る事項については、所轄の税務署や、弁護士、公認会計士、税理士等の専門家にご相談の上、お客様の責任においてご判断下さい。

本資料中に記載された特定のまたは一定範囲の価格、指標等は、作成の時点における仮の情報として記載したものであり、お客様が弊社と金融商品その他の取引をされようとする場合に用いられる価格、指標等を表すものではありません。また、かかる価格、指標等は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さいようお願い申し上げます。

弊社は、弊社と取引をいただくお客様の本人確認を行うため、一定の情報の取得、照合および記録を義務付けられています。従いまして、貴社および／またはご担当者の正式名称、氏名、住所等の情報を始めとして、本人確認のために登記簿謄本その他の各種書類または証明書をご提出いただくことがあります。

また、弊社と、SMBCグループ各社は別法人であり、弊社が提供する本資料はSMBCグループ各社が提供するものではありません。お客様と弊社との間において、本資料において弊社がご提案する取引等が成立するか否かは、お客様とSMBCグループ各社の間のお取引に何ら影響を与えるものではありません。

なお、「SMBCグループ各社」とは、弊社の親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループ、弊社の親金融機関等(金融商品取引法第36条第4項に規定される者及び銀行法第13条の3の2第2項に規定される者をいいます)、弊社の子金融機関等(金融商品取引法第36条第5項に規定される者及び銀行法第13条の3の2第3項に規定される者をいいます)、および財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則上の関係会社をいいます。

本資料は、提供されましたお客様限りでご利用下さい。本資料のいかなる部分についても一切の権利は弊社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いいたします。

商号等: SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会